

# 労建交群馬県本部ニュース

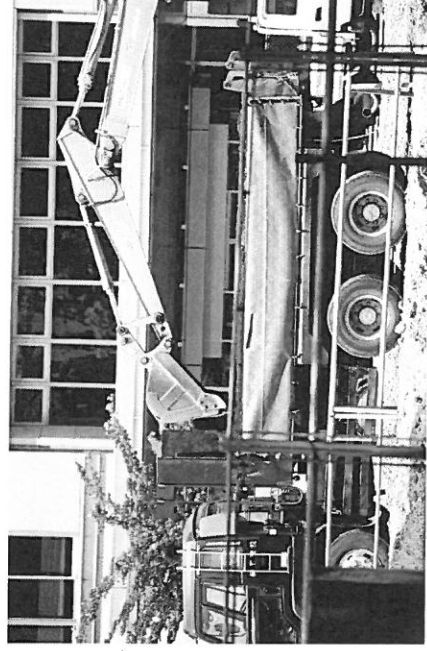
全日本建設交運一般労働組合群馬県本部  
〒371-0023 (略称・建交労群馬県本部)  
群馬県前橋市本町3-11-12 TEL:027-223-0007  
FAX:027-223-9966 e-mail:ctg-g@nifty.com

## 労働者供給事業とは

労働者供給事業は原則的に禁止されているが、労働組合法による労働組合等が厚生労働大臣の許可を受けて無料で行う場合に認められているものであり、当該事業の運営は、適正におこなわれることが必要である。このため、他の需給調整機関と同様に職業安定法、「職業紹介事業者、労働者の募集を行う者、募集受託者、労働者供給事業者等が均等待遇、労働条件の明示、求職者等の個人情報取扱い、職業紹介事業者の責務、募集内容の確かな表示等に関して適切に対処するための指針（平成11年労働省告示第141号。）」等に定める原則が準用される。（法第46条）

供給事業と派遣事業との違いは、「供給」では、仕事先との全面的な「雇用関係・指示命令関係」があり、給料は仕事先から支払われる。一方「派遣」では、「指示命令関係」は派遣先（仕事先）でも、「雇用関係」はあくまで派遣元にあるものとして、給料はどちらから出るかという問題には、必ず「派遣元」から出ねばならないことを要件とする。

## 県内建設会社と労供事業契約書を締結 ダンブ。運転手を労供事業で組織 賃金は県内世間相場の約2割増で契約



県内の建設現場で残土の積み込みをしているダンブ

このたび建交労群馬ダンブ支部（多胡委員長）は、六月一日付で、県内の建設会社（土木工事）と労働者供給事業の契約を締結することができました。今回の契約で賃金に関しては、県

内世間相場と比較して約二割増を実現しました。ダンブ支部は、これまでの一人親方中心の運動から、運転手組合も含めた運動に転換し、組織の拡大強化につなげたい考えです。

建交労群馬県本部は、昨年七月に関西支部で開催された労働者供給事業学習会に代表を派遣し、同事業の研究をすすめてきました。そして、同十二月に、まず事業団支部で労供事業をはじめることができました。ダンブ支部は、一番目の取り組みとなります。

非正規労働者が増え続ける中で、ダンブ運転集も例外ではなく、ほとんどが「一日いくら」という

この調査は、昨年四月と今年二月に大幅に引き上げられた公共工事設計労務単価が、末端の下請労働者やひとり親方の労賃にしっかりと反映されているかどうかなどを中心に調査するものです。今回も県土整備部の協力を得て、広瀬第一県営住宅など六か所の工事現場で行う予定です。この結果を六月二五日に予定しているダンブキャラバンに生かしてゆきます。

第二回群馬県発注の建築現場調査を実施  
建交労群馬建築支部及びダンブ支部は、今年二月に続いてこの六月に、第二回目の県発注工事現場における建設労働者の実態調査を行います。

ダンブ支部では、労働者供給事業のなかで日雇い雇用保険という社会保険制度を活用し、運転手組合員拡大で成果を上げたいと話しています。

た日雇い形態で働いてます。こうした運転手労働者の組織化は、前々からの課題でしたが、一人親方と違い税金や労災など制度活用もできないため、全国的にもすすんでいないのが現状でした。

## NIPPO伊勢崎分会が単価交渉 台引き・常用単価等引き上げ

NIPPO伊勢崎分会は、今年5月にNIPPO関東第二支店及び中間下請業者と単価問題で交渉し、下表のように大

きな成果を上げることができました。この発端は、昨年12月からあった最低保障34,000円を、今年3月末でいったん打ち切るとの宣告を受けたことからでした。消費税や燃料費が上がる中で「このままではやってけない」と分会の仲間は立ち上がり、要求書を出して交渉をした結果です。

現単価	新単価	備考
台材トン引き 5 km未満 10,000円	同 km 12,000円	6, 8, 10, 12月と4回に分けて順次引上げ 最終的に12,000円に引き上げる。
台材常用 30,800円	34,000円	本年6月1日より新単価実施
砕石引き取り (台引き) 前橋より2,600円 渋川より6,000円	前橋より4,500円 渋川より8,000円	6月1日より
繁忙期最低保障 34,000円	35,000円	12月～3月までの限定期間